

調査アドバイザーグループ 主要論点一覧¹ (案)

平成 29 年 10 月 10 日

1. 休眠預金活用を通じてどのような成果を目指すべきか。

論点 1. 既存の枠組み外の支援だからこそ実現できる成果とは何か。

論点 2. 休眠預金による支援対象からの自立に向けて必要な成果とは何か。

2. 1. にて整理した成果を創出するためには、どのような革新的仕組み・手法が有効か。

(1) 資金配分ポートフォリオの設計・運営方法

論点 3. 資金配分ポートフォリオにかかる基本的な考え方をどう整理するか。

論点 4. どの発展段階の民間公益活動を行う団体に資金を提供すべきか。

(2) 資金の活用に係る評価の在り方

論点 5. どのような評価（評価観点・プロセス等）をすることで成果を適切に測ることができるか。

(3) 成果に係る目標に着目した革新的な手法

論点 6. 成果に係る目標に着目した革新的な手法として、どのようなものがあるか。また、このうちどの資金提供の手法が有効か。

論点 7. 休眠預金等によるリスクテイクとして具体的にどのようなものが考えられるか。また、そのリスクをどう管理すべきか。

以上

¹ 基本方針の策定にあたり優先的に議論すべき論点を主要論点として掲載。